



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

The Arrival			
著者名	Shaun Tan	発行年	2007年
出版社名	Arthur a Levine	ページ数	128ページ
値段	19円	ISBN	978-0439895293
コメント	言葉をうしないます。 こんな表現方法があったのか、と。 言葉のいっさい存在しない、サイレント絵本。表情が光景が、不思議なアイテムたちが、心の深層へとダイレクトに語りかけてきます。 かなしくて、あたたかい。おとなのファンタジー。		

読者投稿欄				
ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
なっちゃん ☆☆	パーっと読んだせいかあまり話がつかめない 自分には合わないかも			
	1-128	128P (15分)		2012/02/15 02:33:48
タワー ☆☆☆☆☆	絵しかないのにこんなにも重厚なストーリーが伝わるんですね。 想像力をかなり働かせているのに疲れを感じない素敵なお話でした。			
	1-128	128P (30分)	最初	2012/02/14 12:12:54
ただ ☆☆☆☆	俺絵本好きみたい。 すげー不思議な気持ちになれた。お勧め			
	1-128	128P (30分)		2012/02/13 14:24:48
^-^) ☆☆☆	不思議な絵本。 ぼやっとした場面場面でしか思い出せない、ひとの寝ている間の「夢」を本にしたような、そんな感じ。異世界へ誘われます。			
	1-128	128P (15分)		2012/02/11 18:35:29
	イラストのみの絵本。 言葉なし。 本屋で立ち読みしてるからなのか、読んでて戸惑った。イライラした。			

らびっと ☆☆☆☆☆	どうやってコマを追えばいいんだ！、話の先が読みにくい！これは外国の絵本の洗礼なのか！など。 それでも読み終わったときに、これが作者の狙いなのでは!?と思い感動した。 というも、主人公の気持ちにシンクロさせられたように思うからだ。 異文化に触れるってきつとこういうことなんですね。		
	1-120	120P (20分)	2012/01/31 02:45:32

しゅまり ☆☆☆☆☆	1 周目はパラパラとページをめくってみた。 鉛筆タッチの絵が印象的。独特の政界感がある。 2 周目は1つ1つのコマを順を追って見てみる。 ストーリーが見えてくる。 こういう表現方法もあるのか、という1冊。		
	all	128P (10分)	2012/01/25 14:39:27

おにぎりぬ ☆☆☆☆☆	家にたまたまあったので読んでみました。 イラストのリアルさと、絵本なのにまるでアニメを見ている様な表現力に驚きました。 とてもクオリティの高い絵本だと思います。		
	全部	128P (10分)	2012/01/22 10:41:30

てい ☆☆☆	ちゃんとストーリーになってるんですね 変な生物がいっぱいですが、送られた世界はいったいどこなのでしょう		
	1-128	128P (20分)	2012/01/17 13:05:40

あああああ ☆☆☆☆☆	特に絵画というものに興味はないが（どちらかというと嫌いな方） 見ていて飽きなかった。 なんかすんなりと読めてしまった。		
	1-128	128P (20分)	2012/01/10 19:48:42

R2D2 ☆☆☆☆☆	主人公の一人であるスーツに帽子、鞆の男が、戦火を逃れながら訪ね歩き、奴隷労働や兵隊に従事した者たちなどとの出会いを重ねながら、離れ離れになった移民の家族と再び出会う。 本編中驚くべき「文字なし、絵のみ」の凄さはここに語れないが、言葉が通じず文化の違う所で生活を始める人間にその場所がどう映っているか、表現したのだと思われる描写がこの筆者の絵ならではだと感じた。		
	1-128ページ	128P (50分)	2012/01/10 02:02:04

ながーる ☆☆☆	帰る場所があるっていいですね。 とても不思議な世界観でした。 顔の表情、個性、風景の描写がとても繊細。何時間かけて創り上げたんでしょうか		
	1-128	128P (10分)	2012/01/08 13:22:51

じん ☆☆☆☆☆	文字が一切ないけれども絵だけでストーリーが理解できるし、逆に文字が入っているよりも印象に残って心に訴えかけてくるような気がします！色使いもカラフルな感じではなくモノトーンな感じで、絵の雰囲気がよく伝わってきて楽しめると思います。		
	1-128	128P (30分)	2011/12/22 12:50:53

あき ☆☆☆☆	移民・難民という日本人にはなじみの薄い内容だったと思う。が、そんなことはあんまり関係ない。			
	不気味な巨大な力から逃げた先が、不思議の国。言葉も通じなければ使っているものも違う。そういう不安の中でも生きていこうとする健気さを感じられる。「千と千尋の神隠し」で千尋が湯屋で生きている姿と少しかぶるところがある。			
ちゃむ ☆☆☆☆	国や権力というものが巨大に書かれていてそれが不気味を増大。 ファンタジーだけどファンタジーじゃない、って感じでした。			
	1-128	128P (15分)		2011/12/11 00:32:22
nodonodo ☆☆☆☆☆	最初は悲しみや不安に満たされている。 つらいときを乗り越えて今はとても幸せな笑顔を見せる様々な人に出会い、男も最後は... そして幸せの連鎖。			
	感情が言葉を介さずに心に直接伝わってくる。 不思議な世界観。でもそう遠く感じられない。			
片道1.5時間 ☆☆☆	1-128	128P (15分)		2011/11/04 16:13:25
アカシア ☆☆☆☆	映画を見てる感じ。 絵の良さが登場人物たちの為人に深みを与えてくれていて、 全体としてとてもいい世界観が出ていると思う。			
	128ページ	128P (30分)		2011/10/11 21:48:08
柊 ☆☆☆☆☆	絵のタッチや話の内容が独特なので、人によって趣味が大きく別れると思う。私はいまいち合わなかった。 台詞が全くないのにストーリーが結構複雑なので、わりと集中して読まないといけないがわからなくなる。			
	子供に読ませたら怖くて泣くと思います。			
アカシア ☆☆☆☆	全部	128P (30分)		2011/10/10 14:08:00
アカシア ☆☆☆☆	言葉の全く無い、絵だけで表現された世界。そこにもさまざまな人や生き物がいて、でもなんだか不思議な世界に魅了されて一回開くと最後まで止まらずに読んでしまう、そんな本です。登場人物の細かい表情や絵のタッチ・色使いからも想像が広がって、言葉がないからこそ色々なことを考えながら読めるのだと思います。			
	1-128ページ	128P (30分)		2011/10/07 01:03:54
柊 ☆☆☆☆☆	イラストだけなのにストーリーがちゃんと伝わってくる とっても素敵な絵本でした^^			
	言葉じゃない分ストレートに心に響くものがあります。 読んで良かったと思える本でした。			
柊 ☆☆☆☆☆	1-128ページ	128P (20分)	なし	2011/10/05 23:23:00



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

テルマエ・ロマエ			
著者名	ヤマザキマリ	発行年	2009年
出版社名	エンターブレイン	ページ数	100ページ
値段	714円	ISBN	978-4047261273
コメント	古代ローマ。どーんと気合いの入った歴史浪漫かと思いきや、お風呂しか舞台にしないもんね、という人を喰った設定がすてき☆ 思い込みの激すぎるルシウス君、かわいがってやってくださいませ。 コミックなので100ページ上限ルールで。		

読者投稿欄				
ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
カンコーヒ ☆☆☆☆☆	面白い。つつい読み進めちゃうw くだらないの大好きです。			
	1-100	100P (60分)		2012/02/15 01:21:44
なっちゃん ☆☆☆☆	読んだ人はわかると思うけど1パターンです。展開も読める でもおもしろい、黄金の1パターン。			
	3巻まで	100P (80分)		2012/02/15 00:20:28
片道1.5時間 ☆☆☆☆	面白い。全巻買った。 よく風呂+ローマという縛りの中で毎回話を思いつくものだなあと感心してしまう。 4巻で新展開に入ってますます面白い。			
	1〜4巻すべて	100P (120分)		2012/02/14 15:10:48
アップルジョン ☆☆	マンガはやっぱり自分の好きなやつではないっていうたちで。 くだらないのは嫌いじゃないけど。 気晴らしになった。			
	2巻	100P (80分)		2012/02/13 23:06:34
こるく ☆☆☆☆☆	高校の世界史で、古代ローマに風呂があったというのを初めて知ったときに衝撃を受けたが、その風呂と日本の風呂を結びつける発想が新しく、面白いと思った。 ちなみにアニメ版も見ました。			

	1,2巻	100P (90分)		2012/02/12 00:01:34
ただ ☆☆☆☆	風呂のマロン			
	3巻	100P (100分)		2012/02/04 02:28:01
いち ☆☆☆☆☆	シュール！はまると楽しいけどそろそろマンネリ。			
	3巻まで	100P (60分)		2012/02/01 16:58:54
ボールボーイ ☆☆☆☆	2巻しかなかったので、読んでみましたがおもしろかった！くだらないけど… 続きも読みたくなりました			
	2巻	100P (30分)		2012/01/22 16:33:08
しゅまり ☆☆☆☆	面白いけど話がワンパターンなんだよな…と思っていたが、4巻で新展開！ 本篇もさることながらコラム的なところもとても面白い。 他の雑誌で読んだけど、作者のヤマザキマリは高校時代に単身ローマに渡った経験があるとか。そういう経験から生まれた物語だと思ってみるとまた違った見方ができるかもしれない。			
	1-4巻	100P (120分)		2012/01/17 21:23:54
てい ☆☆☆☆	今なにげなく入ってるお風呂って、普通じゃ考え付かない発想のかたまりだったんですね！ そりゃルシウス君もびっくりするわなー うん、普通におもしろかったです！			
	1-100	100P (40分)		2012/01/13 11:32:45
ながーる ☆☆☆	日本のマンガってすごいですねー ベルばらとかみたいに時代考証がしっかりしてるし なぜか現代日本の風呂にワープするSFチックなことが起きるし もしかしたら、平たい顔の民族の文化のルーツが古代ローマだったりして。 ルシウスくんが阿部寛にぴったり			
	1,2巻	100P (30分)		2012/01/08 13:40:37
ちゃむ ☆☆☆	古代ローマと日本がこんな意外なところでつながっていたとは。 寒くなってきたので、お風呂にゆっくり浸かりたいです。 (追記) 4巻も読みましたが、今までのワンパターンから変わって、ルシウスの反応も自分は楽しめました。 続き気になります。			
	1,2,4巻	100P (135分)		2011/12/13 17:56:24
タワー ☆☆☆☆	今まで読んだことのない漫画で飽きることなく読めました。 二巻三巻も読んでみたい。 日本の文化はやっぱりすごいね			

	1巻	100P (30分)	52p	2011/12/13 12:43:02
ああああ ☆☆☆☆☆	友達に薦められて読みました。 こういうテイスト嫌いじゃないです。(笑)			
	100	100P (30分)		2011/12/12 23:56:56
こはる ☆☆☆☆☆	一話ごとにはさまっているコラムが面白い。主人公のくそまじめな性格が好き。あたしもお風呂にもぐって違う時代にタイムトリップしたい！			
	100	100P (70分)		2011/12/09 14:57:26
Nob ☆☆☆☆	変な漫画だと思って読んでみたら、意外！ 面白かったです！！ 温泉に行きたくなりました 笑			
	3巻	100P (40分)		2011/12/08 17:50:55
* ^ - ^) ☆☆☆☆	もっとお堅い歴史ものかと思ってたのに 笑 生活と切っても切り離せないもの、それが風呂。			
	1-100	100P (30分)		2011/12/07 15:08:58
坂本さん ☆☆☆	絵柄からして真面目なマンガかと思ったら、風呂場を舞台にしたシュールギャグだった。 色々調べて描いてあって多少勉強にはなったけど、賞もらったり映画化するほどのもんかな～というのが私の感想。 マンガは特に読む人の好みが出ると思うので、この機会に読んでみてもいいんじゃないかな。読んでみて損はしないと思う			
	1-100	100P (60分)		2011/12/01 21:20:02
Albert ☆☆☆☆☆	面白い！ 漫画としても、風呂文化を知るにしても良い本だと思います。			
	1-100	100P (100分)		2011/11/30 22:37:04
あおい ☆☆☆	銭湯という日本文化を歴史的に、さらに異文化からの視点でみていて新しかった‼ おもしろいよ (^O^)			
	1-100	100P (20分)	第1話	2011/11/28 17:06:05
おわこん ☆☆☆☆☆	温泉行きたくなった！ でも、少し話がワンパターン過ぎるかなと思った。 顔の平たい種族という、表現がツボった。			
	100	100P (100分)	1 巻	2011/11/27 23:55:42
nodo	風呂の存在を思い出させてくれます。 ここ二ヶ月湯舟に浸かってないから忘れてました。			

☆☆☆☆☆	1	100P (30分)	1-100	2011/11/24 11:17:11
専務 ☆☆☆	風呂のロマン。			
	一巻	100P (30分)		2011/11/23 19:19:53
おにぎりんぬ ☆☆☆	日本の文化を外人の視点で見るという設定が斬新で面白かった! 特に歴史の知識がなくても楽しんで読めます。 絵がリアルで上手だなぁとおもいました。			
	1巻	100P (30分)		2011/11/19 20:00:27
R2D2 ☆☆☆☆	主人公のルシウスが日本に迷い込むたび、自分の常識が通じず突飛な行動をするのが滑稽で、そのシーンが定番になっていても、毎回つい笑ってしまっていました。このマンガは最近連載されているマンガの中では、『聖☆おにいさん』と並んで、全年齢対象に安心して読める漫画だと思えます。（小学生などには少し早い？） 四巻も相変わらず面白かった！			
	, , , 巻	100P (50分)		2011/11/10 21:53:43
あき ☆☆☆	「マンガ大賞」ってぐらいだから、風呂を通して文明の進化についてについて感じるものなのかと思えば、やっぱりただの「風呂マンガ」的要素が強い。 でも、ルシウスが現代日本にあるものをまねて、ローマに作るものが子供の工作っぽくておもしろい。			
	一巻	100P (40分)		2011/11/06 20:50:05
嫌好法師 ☆☆☆☆	なにげにオススメなのは、章末に配された作者の小話。地に足の着いた知識の提供であるようで、どこかふわふわと作者の妄想世界へ遊離していくような素敵な文章です。あ、すみません、本編の感想じゃなくて。			
	一巻	100P (45分)	第一章	2011/11/04 09:46:37
らびっと ☆☆☆☆	日本の伝統である風呂文化についての話。 日本の風呂を客観的にとらえてあるので、気づかされること多々あり。 マンガ。			
	一巻	100P (40分)	第一章	2011/10/31 12:55:51
ほまひ ☆☆☆☆	リスト内の漫画という手の出しやすさに惹かれます。 日本人が他国に譲れないものとしてよく引き合いに出されるものとして風呂と食事がよく挙げられますが、この作品は特に風呂に焦点を当てたもの。 日本人が好きな「外国から見た日本のちょっと変わったところ」みたいな話題が盛りだくさん。 段々マンネリ化していく気がするので一番最初が一番面白いと思います。			
	1,2,3巻全部	100P (60分)	1-30P	2011/10/06 09:23:39



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

天地明察

著者名	冲方 丁	発行年	2009年
出版社名	角川書店	ページ数	475ページ
値段	1,890円	ISBN	978-4048740135
コメント	しっかり調べて、じっくり人物像を立ち上げた重量級歴史小説。 渋川春海さん、暦をつくった人。読みやすくてキャラの魅力にはまれます。 江戸時代人と算法勝負をしたいかたは、21ページと143ページと236ページへ直行！		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
しゅまり ☆☆☆☆☆	これは面白い！！ 歴史小説ということもあり読みやすい文章では無くてかなり時間がかかったけれど、文句なしに面白いです。 映画化は楽しみだけこの雰囲気ってどういう感じになるのかな？			
	all	474P (360分)		2012/02/14 23:05:22
* ^ - ^) ☆☆☆☆	中学以来日本史を学んでいないので読み進めるのがちょっとつらい部分もあったけど、おすすめ。 江戸時代にタイムスリップしたくなる！			
	1-300	300P (300分)		2012/02/11 18:31:33
p i g (・∞・) ☆☆☆☆	私にとって初の時代小説です。 おもしろかった！江戸の裏側を見た気分 読み終わなかったのが残念です			
	1-120	120P (100分)		2012/02/09 15:25:53
R2D2 ☆☆☆☆☆	碁打ち、神道家、朱子学者、算術化、測地技術者、歴術家(p.119より)としての多彩な才能を持った 渋川晴海（安井算哲）。碁打ちの家に長男として育った主人公が、よもや本来余分だった芸事から 「天地明察」の大仕事を行うことになるとは、読んでいる私も全く想像がつかなかった。 挫折、死別、あらゆる悲しみを乗り越えてひたむきに生きる彼の生き方が、彼の才能を輝かせたの だと思う。 引き込まれるようにして読んだ。			
	1-475ページ	475P (345分)	章「一瞥即解」	2012/01/24 22:22:42

ちゃむ ☆☆☆☆	主人公春海の学問へのひたむきな姿勢に引き込まれた。 “からん、ころん” は読んで初めて聞こえてくる。 関孝和が出てきたのは軽く衝撃だった。 また、暦とは。たかが暦されど暦。 「今日が何月何日であるか。その決定権を持つとは、こういうことだ。 宗教、政治、文化、経済——全てにおいて君臨するということなのである。(p.309)」 最近今日がいつかあまり気にしていなかったり、カレンダーの予定を眺めたりしていたが、確かに 恐ろしいと思う。		
	1-474	474P (340分)	2012/01/24 13:01:01

あああああ ☆☆☆☆	V6の岡田が好きな理由でこの本をとった。 あまり長編小説が得意ではないのだが、 すんなり読むことができた。 映画も見たい。		
	1-475	475P (420分)	2011/12/12 23:31:03

Elmo ☆☆☆☆☆	超面白い！！ 自分の「からん、ころん」いつか聞けるようになるかな・・・		
	1-475	475P (150分)	all 2011/11/29 23:28:03

専務 ☆☆☆☆☆	何気なくとった本が、まさかの時代小説！！ 途中で挫折するなと思いつつ読んでいくと・・・あれ、もうこんなに読んだの？ってくらい引き 込まれていた 渋川春海が仲間と一生をかけて暦に挑む姿に泣けます あと、江戸時代の算術が出てくるから東工大生にはおすすめ 最後に、この本読んだらやる気出ます！！		
	1-475	475P (180分)	2011/10/22 01:59:43

[TOP](#)へ



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

鹿男あをによし

著者名	万城目 学	発行年	2010年
出版社名	幻冬舎文庫	ページ数	454ページ
値段	686円	ISBN	978-4344414662
コメント	セントくん蹴扨する旬の奈良へGO！ 「マイシカ」がド真ん中のツボでした。 ふうん、奈良の人ってスーパー行くのもマイシカなんだ、そうなんだ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
なっちゃん ☆☆☆☆	プリンセストヨトミがあまり自分に合わなかったので期待していなかったのですがこれはおもしろい！ 今度暇なときにドラマ見ます			
	1-454	454P (240分)		2012/02/14 23:59:44
タワー ☆☆☆☆☆	ドラマを見てから読み始めたんですけど、また違う面白さがあってドラマを見てた人にも、見てない人にもおすすめです。 設定がおかしすぎて飽きないです。 コメント書いてたらまた読みたくなってきたー			
	1-454	454P (250分)	すべて	2012/02/14 13:00:03
こはる ☆☆☆☆☆	ドラマが大好きだったから原作を読むかすごく悩んだけど、悩む必要性なかった！このゆるくてミステリアスな雰囲気がとても好きです。奈良に行きたい。			
	1-454	454P (300分)		2012/02/13 08:47:36
いち ☆☆☆	ぶっとび設定系です。鹿とポッキーゲームしたことを思い出しました。			
	ぜんぶ	454P (150分)		2012/02/12 23:27:12
	いやーこれはおもしろい。 ぼくは生粋の森見登美彦ファンだったのですが、万城目さんの作品もまた一癖も二癖もあっておも			

嫌好法師 ☆☆☆☆	しろいです。 去年はモリミーのせいで京都に行くことになったので、今年は奈良に行かねばならないような気になっております。 そういう、世界観のある物語。 帰ってきたときに耳が生えていないことを祈るばかりです。		
	1-454	454P (200分)	2012/01/20 21:55:55

専務 ☆☆☆☆	奈良に行くときは ポッキーを持っていきたいと思います。		
	all	454P (300分)	2012/01/18 16:34:06

ちゃむ ☆☆☆☆	ここの大きさのわりには、どことなく皆のほほんとしている。 神様もその仕えてる動物も抜けているような人間味のある、すてきな物語。		
	1-454	454P (280分)	2011/12/26 17:06:25

ボールボーイ ☆☆☆☆	ドラマより面白い！と思いました。 ページ数あるけど、あまりダラダラせずに読めます ^ ^		
	1-454	454P (240分)	2011/12/21 10:48:02

Elmo ☆☆☆☆	万城目さんサイコーです。		
	1-454	454P (120分)	all 2011/11/29 23:29:37

あおい ☆☆☆☆	ドラマでもみたことあるけど、本で読むとまた違っておもしろかった。 本の方が自分のイメージで読めるからすき(>_<) 物語がどんどん展開して行って、すらっとよんじゃった(^o^)		
	1-454	454P (250分)	2011/11/28 17:15:47

Nob ☆☆☆	後半に進むに連れて面白くなりました。 ドラマ版ちょっと見てたんですが、あまり覚えてませんでした 笑 それでも、所々は、 ああ、そういえばそういう設定だったな～ みたいに思い出しつつ、読みました！ あと、作者の苗字読み間違えてました 笑		
	1-259	259P (180分)	2011/11/26 22:28:01

こるく ☆☆☆☆	ドラマ版を一回も見たことがなかったので、どういう内容なのか気になって読んでみた。 内容が想像以上に深く、情景の描写も細かく表現されていて、非常に楽しく読み進められた。 神秘的な感じがする奈良のイメージにマッチした小説だと思う。		
	1-442ページ	442P (260分)	2011/11/13 14:37:14

アニマル ☆☆☆☆☆	万城目学の作品はやっぱり面白い。青春あるし歴史ロマンあるしハッピーエンドで終わるしイイ。ドラマ版はキャストが意外に豪華です。			
	1-454	454P (300分)	なし	2011/11/01 23:28:50
おにぎりんぬ ☆☆☆☆	予想できない展開の連続で、先が気になって1冊一気によんでしまいました! また、とても主人公に感情移入しやすく、楽しんで読めました! もし、これから奈良で鹿を見つけたらちょっと身がまえちゃうかも …(笑) ラストの落ちが素敵で個人的に気に入っていますv			
	1-454	454P (270分)		2011/11/01 17:47:47
アップルジョン ☆☆☆	とてもユーモアを感じた。私も日々ユーモアのある嘘をついて楽しく生きたい。鹿にはさすがになりたくないけれど。ユーモアのある嘘のつき方を学んだ本。まあ色々違うんだけど。			
	1-454	454P (240分)		2011/10/29 00:23:46
ほまひ ☆☆☆	ラストに微妙に落としてくれました。お姫様のキスで呪いが解けるみたいな描写は王道ながらワクワクします。 キャラ小説じゃないのは分かっておりますが、もう少しヒロインに特徴が欲しかったなあ、鴨川ホルモーはすごく面白かったなあ、と思います。			
	ALL	454P (200分)		2011/10/19 21:28:10
*^-^) ☆☆☆☆	伏線回収をきちんとやってくれていて、読み終わった後すっきり。でも、ちょっと無理やりかな?と思うような話のこじつけもあったので、☆は4つ。 「あをによし」は、「奈良」にかかる枕詞だそうです。知らなかった。			
	全て	454P (300分)		2011/10/10 01:33:56
nodo ☆☆☆☆☆	P285-P294の剣道の試合の場面が、とても印象的だった。 極限の集中をしているときの自分の動きの俊敏さに自分で驚くことが、運動をしている人には少なからず経験のあるだろうと思う。そのときの精神の極みのような感覚が、この場面を読んでいて思い起こされた。 この場面は話の本筋ではないが、この小説はこの場面も含め、全体としては平坦な文章でありながら、舞台である奈良の雰囲気であったり、登場人物の雰囲気であったりを、それぞれの微妙な機微を含めて、うまく紡ぎだせているのではないかと思う。 P394に「言葉とは魂だから。」というセリフがある。このセリフはとても気に入っている。			
	1-454ページ	454P (240分)	285-294, 394	2011/10/08 00:40:15



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

プリンセス・トヨトミ

著者名	万城目 学	発行年	2009年
出版社名	文春文庫	ページ数	554ページ
値段	750円	ISBN	978-4167788025
コメント	どかんと大阪が炸裂する。 やるなあ！ お話だもの、ここまではじめてくれなくっちゃ。ひょうたん、つてのがまた人を喰ってて痛快だね。 あまりのスピード感に、500ページを一気読みしてしまいました。		

読者投稿欄

ペンネーム お勤め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
なっちゃん ☆☆	500ページあるとは思えないほど読みやすい！ ただ予想していたよりも奇抜でなく淡々と終わってしまった感じが残念			
	1-554	554P (240分)		2012/02/14 23:21:37
おにぎりんめ ☆☆☆	残念ながら1週間で最後まで読み切れませんでした。。。途中まで読んでいて気になる点がいくつかあったのでまた機会があれば最後まで読みたいです。			
	1-100	100P (60分)		2012/01/17 18:53:43
ボールボーイ ☆☆☆	家に置いてあったので、読んでみました。 ちょっと個人的には楽しめませんでした。ページ多いのになんか詰まってない！！でも細かいところで面白いところがありました。			
	1-554	554P (300分)		2012/01/05 22:18:10
こるく ☆☆☆☆	描写が細かく、臨場感を感じたため、本当に大阪国なるものがあるのかと一瞬錯覚してしまった。個性的な登場人物をはじめとして、質量共になかなかの読み応えだった。			
	1-554	554P (340分)		2012/01/05 17:52:40
Albert	長すぎるので400ページまで流しよみ、そこからちゃんと読みましたが充分読むことができます。 むしろ、そこまで物語が進展しないので、伏線に興味なかったら読み流していいかも。			

☆☆	もうちょっと面白い結末を期待したのに、予想通りで終わったのが残念。予想外の展開を期待していたのだが。			
	1-554	554P (110分)	400-	2011/12/21 14:25:40

Elmo ☆☆☆☆	父からの伝授に心打たれました。 伝えられるのは役割だけではないんだと思う。 すてきな作品です。			
	1-554	554P (300分)	all	2011/12/04 11:31:51

アニマル ☆☆☆☆☆	やっぱり大阪生まれの万城目学は京都、大阪、奈良と関西が舞台となる作品が多い。歴史ロマンがからむ彼の作品は好きです。いいんじゃないですか大阪都構想じゃなくて大阪国があっても。			
	A L L	554P (380分)	無し	2011/11/16 18:28:45

しゅまり ☆☆☆	自分だけかもしれないけど万城目学の作品ってどうも文章が好きになれない。 とはいえどの物語も発想が面白くて、惹きつけられるものがある。 そして空堀商店街の描写などが細かくて、物語にリアリティをもたせていると思う。 結末もなかなかイイ感じだと思う。 でも長い（笑）			
	all	554P (270分)		2011/11/15 17:39:25

ちゃむ ☆☆☆☆	父と子、男たちの想いの連鎖。それを見守る母、女たち。 「守りたいもの」はヒトに勇気を与え、抛りどころを与え、そして絆を与えてくれる。 たとえそれが知ることのない「プリンセス」であっても。			
	1-554	554P (430分)		2011/10/25 18:32:42

ほまひ ☆☆☆	鴨川ホルモー、鹿男あをによしとか近畿地方を題材にした作品が目につく作者の大阪もの。 大阪国というものが、ネット上で度々大阪民国と揶揄されて呼ばれることを面白おかしく解釈して いって誕生したのかは分かりません。 「僕」と「茶子」がお話の中心人物となっていながら、ヒロインである「茶子」自体は自分が物語 の中心人物であることに気づいていない。彼女の知らないところで世界は回る。むしろ主人公も物 語の全貌をほとんど見通せずに話は進んでいく。こんな大騒ぎなのに全貌を把握しているのは僅か 数人。 そんな壮大な物語は意外と小さいところにまとめられることが多いなぁと思っていたら、「親子の 絆」という辺りに集約されました。 鴨川や鹿男とは大分毛並みが違いました。 鳥居の十字架の伏線が処理されてないのがちょっと残念。			
	1-532	532P (180分)	369-496	2011/10/07 13:30:43



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

有頂天家族

著者名	森見登美彦	発行年	2007年
出版社名	幻冬舎文庫	ページ数	423ページ
値段	720円	ISBN	978-4344415263
コメント	この世の中は天狗と狸と人間から成り立っています。 三択だよ、って言われたら、何になりたいですか。 ゼツタイ狸を選びたくなる。狸になって偽電に化けて寺町通りを爆走して「それは阿呆の血のしからしむところだ」って何々大笑してみたくなる。たとえ狸鍋にされても。きゃーッ。 章ごとに独立でも読めます。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
Elmo ☆☆☆	なんだこれ(笑)			
	めっちゃおもしろかった			
	1 - 423	423P (180分)	all	2012/02/14 13:32:44
おにぎりぬ ☆☆☆	森見登見彦さんの『夜は短し歩けよ乙女』と『四畳半神話体系』を以前読んだことがあり、おもしろかったので(途中までですが)、読んでみました。 この作品は上の二つとは作者が同じでも雰囲気というか世界観が全然違って面白かったです。 主人公が狸というのがファンタジーチックでかわいらしかったです。			
	1-200	200P (90分)		2012/02/05 20:55:47
タワー ☆☆☆☆☆	初めてこの著者の本を読んだのですが、このなんとも不思議な世界観を体験していなかった今までの人生に後悔。			
	狸と天狗と人間という非日常のなかの日常が描かれていてどんどん惹きこまれました。			
	1-423	423P (200分)	一章	2012/01/24 13:02:13
アップルジョン ☆☆☆☆	読み終わって何かふわふわした感覚に陥った。 なんなんだろうか。 とりあえず、日常に戻って考える。愉しく生きようとしてみよう。			
	1-423	423P (280分)		2012/01/09 16:34:06

こるく ☆☆☆☆	狸が主人公の、独特な世界の広がる小説で、非常に面白かった。 面白いだけでなく、師弟愛、兄弟愛、家族愛を感じることができ、心も温まった気がした。			
	1-423	423P (250分)		2012/01/05 18:01:24
ちゃむ ☆☆☆☆☆	解説にも書いてあるが、この本の感想をまとめようとする何もなくってしまう。 「ただ愉しめばいい。面白く読むほかに何もすべきことはない。」がこの本の全てを表している。 名前しか知らなかったこの著者の本を他に読んでみたくなった。			
	1-423	423P (270分)	解説	2011/11/25 13:02:48
専務 ☆☆☆☆	狸に天狗に人間？ときたもんだ。 動揺は隠しきれなかったけど いつの間にか独特の世界観に引き込まれていた。 今度京都に行った時には きっと周りの人間を狸と疑ってしまうだろう。 赤玉ポートワイン飲んでみたいなあ！！			
	all	423P (240分)		2011/11/23 19:16:16
p i g(・∞・) ☆☆☆☆	こんな小説読んだのは初めてです。 不思議な世界が広がっていました。 主人公は狸。「面白きことは良きことかな」をモットーに生きる狸の日常が描かれています。			
	1-423	423P (300分)		2011/11/01 00:14:42
Nob ☆☆☆☆	どんな話が全く考えずに、何期も残っているという事だけを根拠に、面白いんだろうと考えて借りました。 狸やら天狗が出てきて、全然話が読めず、失敗したかなあと思いました。が、途中からその環境にも慣れて段々と世界観にはまってきて、最終的には楽しくよんでました。 さすが、何期も残ってるだけに、面白いと思います。			
	1-423	423P (300分)		2011/10/26 11:05:53
坂本さん ☆☆☆	ファンタジックな内容で面白かった。ラジオドラマが何かで聴きたい。			
	1-53	53P (60分)		2011/10/25 15:54:49
ボールボーイ ☆☆☆☆	森見さんの作品なので多少クセがありますが、この本はわりと読みやすくなっていると思いました！ 楽しく読ませてもらいました。 京都のことがわかったらもっと面白いなあと思いつつ…京都に行きたいです！！			
	1-200	200P (60分)		2011/10/16 22:38:10
片道1.5時間 ☆☆☆☆	面白いけど、森見登美彦にしては文章のクセがかなり抑えられていてちょっと物足りない。 これを読んで森見登美彦に興味が出た人には、作者の特徴が一番強く出ている『四畳半神話大系』『夜は短し歩けよ乙女』あたりがおすすめ。			
	全部	423P (150分)	冒頭	2011/10/14 21:12:26

嫌好法師
☆☆☆☆☆

登美彦氏の一ファンとして、あまりにバイアスが強すぎるので評価は参考になさるぬよう。

同氏の創作のテーマ(とはい言過ぎかもしれん)でもある「おもしろきことはよきことかな」を体現したようなファンタジーノベル。正直言って、立ち読みポイントなんてありません。書店で半分まで立ち読みしてしまった僕が言うのですから間違いない。

もし、登美彦氏初体験の方がおられたら一言。
彼はファンタジーという概念を軽く超越します。ファンタジーという甘ったるい言葉に惑わされないでください。そして、あなたの足で京都へ出向いてください。叡山電車に乗ってください。しっぽが出ていたら要注意！

1-423ページ	423P (180分)	336-423	2011/10/11 22:20:09
----------	-------------	---------	---------------------



図書一覧

書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール一覧

自己プロフィール

掲示板

ラッシュライフ

著者名	伊坂幸太郎	発行年	2005年
出版社名	新潮文庫	ページ数	449ページ
値段	660円	ISBN	978-4101250229
コメント	ストーリーの主人公は「時間」。だからヒストリアンズの書棚に最適。 なあってムリにコジツケなくても、おもしろいからいいよね。 どこかの検察さんじゃないけど、ストーリーに縛られることの危うさってやつをしっかりと教えてください。		

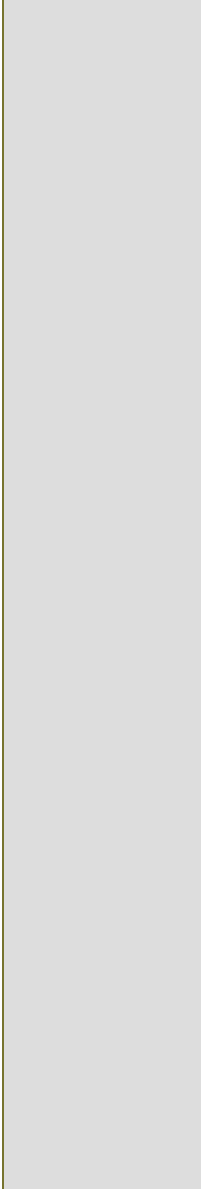
読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
専務 ☆☆☆☆☆	別々に進むストーリーがだんだんと絡み合って一つにつながっていく爽快感！！ 自分の何気ない一日も誰かに関係しているのかもなあ			
	all	449P (200分)		2012/01/22 00:21:40
嫌好法師 ☆☆☆☆	さすがです。初期の作品ですが、伊坂節全開の傑作。 これを読んだら友だちに勧めたくなるよねえ、そりゃ！って感じです。			
	1-449	449P (250分)		2012/01/20 21:59:16
ちゃむ ☆☆☆☆	この登場人物たちがこの後どのように関係していくのだろう？とワクワクしながらページをめくっていった。しかし、最初から全ての出来事はもうすでに絡みあっていた。人生もそんなもんかもしれない。 いつもミステリーは分かってしまったらもう一度ワクワクしながら読めないが、この本は絡みが解きほぐされてもおもしろい、もう一度この絡みを楽しみたいと思わせるのである。 個人的に裏表紙のあらすじは読まないで本文にいくことをお勧めする。			
	1-469	469P (250分)		2012/01/19 13:14:46
	ゴールデンランバーで、初めて伊坂幸太郎を読んで面白かったので早速他の作品も読んでみました。			
	やっぱり面白い！話がすごくよく練られてると思いました。			

Nob ☆☆☆☆☆	別々の視線から描かれた、全く境遇の違う人達の話が最後に繋がっていくところは、爽快でした。 そういう関係だったのかみたいに驚かされました。 また、それぞれの人達の話は同時に進んでいる様で、 実は時間は別々で、それだけに驚かされる部分もありました。 素晴らしい作品だと思うので、是非！			
	1-449	449P (300分)		2011/12/21 11:06:27
Elmo ☆☆☆	案外狭い世界に自分たちは生きているのかもしれないと思いました。 そこそこいけるオムニバスでした。			
	1-449	449P (120分)	all	2011/11/29 23:31:50
坂本さん ☆☆☆	全く関係ないような複数の物語が次第に一つに収束していく。初めは読みにくいけどだんだん話の筋がつかめてくると思う。 前のページに書かれていた出来事を後ろのページで綺麗にタネ明かしをしている点では、ミステリーとしてはなかなか面白いと思う。でも仙台という「現実的」な場所を舞台としながら、設定がちょっと非現実的に思われる部分があって、違和感を感じた。物語の終わり方もちょっと終わり急いだ（作者が飽きた？）感もありイマイチ作者が何を言いたかったのか分からずじまいだった。でも無関係に思われる物語が次第に絡んでいく様子は面白く、電車に乗っている時に読むには十分な本だった。			
	1-456	456P (360分)		2011/11/29 19:23:13
ボールボーイ ☆☆☆☆☆	それぞれの舞台が展開されてて、ひょんとした所でつながったりしていて… 飽きることなく楽しく読めました！			
	1-469	469P (200分)		2011/11/18 17:53:29
* ^ - ^) ☆☆☆☆☆	一人ひとりの生活が、時間軸をずらしながらふとしたところで絡み合う。 「バラバラで、ちぎれたはずのものが次第にくつつく」って、この本自体のことをいってるのかも。			
	1-456	456P (240分)		2011/10/16 20:17:43
サーフ ☆☆☆	少しずつ繋がっていて面白いと思います。			
	1-198ページ	198P (120分)		2011/10/10 19:32:44
p i g (・∞・) ☆☆☆☆☆	同時進行で進んでいく5つの舞台。 そこに立っている人々は それぞれちょっと風変わりな人生を歩いていますが、 実は意外なところで繋がっていたり…… 最後にストーリーが上手く絡み合うオシャレな小説です。			
	1-469ページ	469P (250分)	417-421	2011/10/09 00:08:21
nodo ☆☆☆☆☆	別々の人間が、別々の境遇で、別々のストーリーをなぞっている。 ただひとつ共通するのは舞台が仙台ということだけ。 噛みっていないようで、噛みあっているようで。 不思議な心地よさがある。 最後がちょっとだけハッピーエンドというのがこの作家のいいところかな。			
	1-469ページ	469P (180分)	441-469	2011/10/08 00:51:11



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板



ゴールデンスランバー

著者名	伊坂幸太郎	発行年	2007年
出版社名	新潮文庫	ページ数	690ページ
値段	900円	ISBN	978-4101250267
コメント	花丸付き「たいへんよくできました」な、ひたすら逃げる物語。人はひとりだけれど、ひとりじゃない。世界はとてつもなく不条理で、自分という小さな存在を容赦なく押し潰しにくるけれど、過ごしてきた日々に関わりを持った人たちが、どこかで自分を応援してくれていて、さりげなく助けてもくれる。 逃げて逃げて逃げて逃げて、よれよれへとへたになりながら、ふっと心が軽くなる、そんな体験をしました。 ——人間の最大の武器は習慣と信頼だ。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
aya ☆☆☆☆☆	映画も見てから読んだけど、どっちもおもしろかった。 晴子と青柳のすれ違ってるけどつながってる感じが好き			
	1-678	678P (100分)	1-678	2012/02/23 16:18:03
こはる ☆☆☆☆	伊坂さんの小説は途中ちょっと読み進める気がなくなりかけるけど最後まで読んだときのつながる感じがとても好き。春休みに映画見ないと。			
	1-690	690P (480分)		2012/02/13 08:58:41
あああああ ☆☆☆☆	楽しめました。 個人的に伏線があるのが好きなので好きな作品です。			
	1-690	690P (600分)		2012/02/03 00:29:37
いち ☆☆	むかし読みました。初の伊坂幸太郎だったんですが、個性的なキャラとスピード感ある展開でサクサク読めたけどサクッと終わっちゃった。マンガだったら面白そうだなー、と思うけど小説だと若干すいかなーと思いました。			
	全部	690P (0分)		2012/02/01 17:42:49
	読み始めたらとにかく止まりません。			

専務 ☆☆☆☆☆	伏線回収がさらにめくるスピードを加速させます。 690pとページ数にビビるかもしれませんが心配ご無用です。 安心して読み進めてください。		
	all	690P (300分)	2012/01/31 23:55:53

らびっと ☆☆☆☆☆	これはいかん。なにこのリズム、心地よい。 第一部にして、なにか起こりそうな気配。 久しぶりに良い小説と出会った予感。 僕は後ろ髪を引かれる思いで本を閉じる。 今は君の相手をしてられないんだ、ごめん。 これはつまみ食いは難しい。		
	1-20	20P (5分)	2012/01/31 03:10:10

おにぎりんぬ ☆☆☆☆☆	とてもスリルがあって面白かったです。 最初は分厚くて最後まで読めるか不安だった（笑）のですが、読み進める手が止まらなくて2日くらいで1冊全部読んでしまいました。 映画も見て見たいです。 オチもよく決まっていたと思います。		
	1-690	690P (360分)	2012/01/10 16:49:28

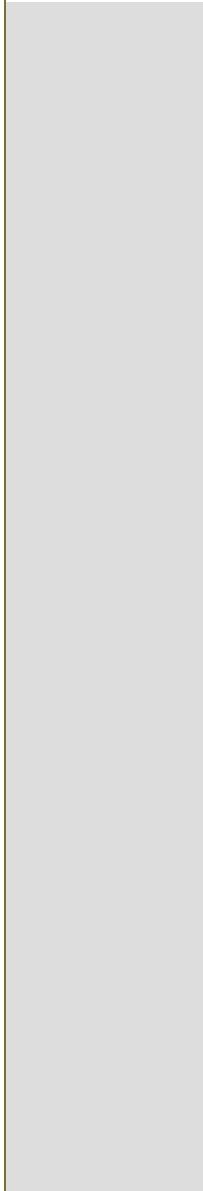
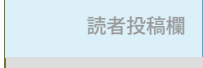
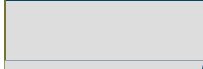
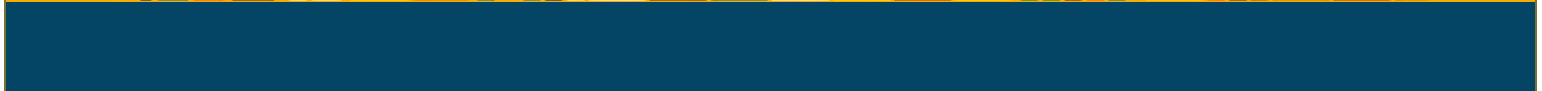
Nob ☆☆☆☆☆	とにかく面白かった！ やたら、長いけど、どんどん引き込まれて行った。 初めの方で、事件の概略がわかっているから、結果は大体想像がつくと思ったけど、実際に事件の当事者の視点から事件を追うと、想像もし得ない結末が待っていた。 そして、国家権力の途方もない大きな力が怖かった。現実にはこんな事はないと祈ります。 構成も面白かった。今までに読んだ事のない感じ。構成のうまささらに話を面白くしているような気がした。 伊坂幸太郎の他の作品も読んでみたいと思います！		
	1-690	690P (480分)	2011/12/07 11:03:18

ボールボーイ ☆☆☆	時間がなくて読まないうちに返してしまった… 余裕あれば再挑戦！！		
	1-100くらい	100P (60分)	2011/12/02 18:46:54

Elmo ☆☆☆☆	流石の伊坂！！ なんなんだろうって思った伏線は悉く解決されます。 時間がかかりますが、読む価値あり！！		
	1-690	690P (240分)	all 2011/11/29 23:35:53

--	--	--	--

カンコーヒ ☆☆	肯定的な意見が多い中に書くのは恐縮なんだけど、面白くなかった。 結末があっけない。というか意味分らない。というか… 小説のレビューは書きづらいな。ネタバレになる、詳しく書くと。 実は俺、ビートルズは大好きで、ゴールデンスランバーって歌も知ってます！ そういう人少ないんじゃないかな？ アビイロードはかなり名盤なんだぜー			
	1-690	690P (300分)		2011/11/28 02:16:24
ただ ☆☆☆☆	読みやすい！面白いからすぐ読める！ 心臓バクバク・ドキドキの展開に僕の花火也大爆発！			
	1-690	690P (300分)		2011/11/22 18:56:38
じん ☆☆☆☆	話の展開がすごく面白かった。内容もすごく好きだし、話にのめりこんでしまっって一気に読んじゃいました。特にラストのシーンとかは個人的にはすごく好きです。			
	1-690	690P (300分)		2011/11/21 22:31:50
ほまひ ☆☆☆☆	伊坂幸太郎を読むのは初めて。 最初に凄く客観的な情報だけを書くことで後半の主人公視点が引き立ちます。 こういう広大な物語って風呂敷を畳むのが難しいけど、くしゃくしゃに色々書くのではなく、最後花丸で終わらせることで読後感が良かったです。			
	all	690P (300分)	なし	2011/11/10 10:30:35
ながーる ☆☆☆	小説に挑戦するも見事に打ち砕かれました。 第3者の視点からの物語でスタートするのがだるくて。。。 3章あたりから読めば良かったですかね(´・ω・`)			
	1-97	97P (30分)		2011/11/04 01:23:08
p i g(・∞・) ☆☆☆☆	最後まで読んだらスッキリしました。 もやもやしたものがなくなった感じです。 ラッシュライフといい、伊坂さん気に入りました！ 個人的に三浦さんが好きです)^o^(\			
	1-690	690P (300分)	667-678	2011/10/16 12:07:50
嫌好法師 ☆☆☆☆	なんだこれ！なんだこの爽快感！ って初めて読んだ時に思いました。いや、だってもう、そりゃ、伊坂さんだけどさ。安定の伏線回収率ですよ。まさに生粋のエンターテイナー。彼はきっとマジメなんだろうな、とあらためて読み直すとそんなことばかり気になってストーリーどころじゃありませんでした。 ってのはさておき、ミステリとかラブストーリーとかの1ジャンルとして「コータロー」って作っていいくらいスタイルが確立されつつある！とかなんとか、でっかいことが言ってみたくなるくらいスバラシイ冊。是非一読されてください。			
	1-690ページ	690P (250分)	434	2011/10/11 22:28:36
nodo ☆☆☆	伊坂幸太郎にしてはめづらしい正統派ミステリー。 この作家について言えば、個人的には登場人物の個性的なキャラと彼らの言動が好きなところ。 だからこの作品はその点いまいち物足りなかったかな。 宮部みゆき好きな人には逆にじっくりくるかもしれない。			



神様のカルテ 1 2

著者名	夏川草介	発行年	2010年
出版社名	小学館文庫	ページ数	522ページ
値段	2,050円	ISBN	978-4094086188
コメント	ものがたり、だけれど、真実。 今この瞬間、あの町でこうやって生きている人たちがいる。 信州の清冽な空気のなかに、あたたかな涙を流れます。 「良心に恥じぬというだけが、我々のたしかな報酬だ」——こんなふうに仕事をしたい。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数 (時間)	立ち読みポイント	投稿時間
p i g (・∞・) ☆☆☆☆☆	評判通り、本当にいい本です。 読み終わった後、やさしい気持ちになりました！ 静かに時の流れる信州のまちの情景が浮かんでくるようで、 読んでいて癒される一冊です。 二巻も読みたいです。			
	一巻 1-252	252P (200分)		2012/01/22 11:38:52
しゅまり ☆☆☆☆☆	原作より先に映画を見てしまったので、（桜井くんが微妙過ぎて）あんまりいい印象を持っていなかったが、原作はとても面白かった。 映画だけでは（桜井くんが下手で）主人公の人物像がまったく伝わってこなかったが、本をよんで始めて人物像が分かった気がする。			
	1巻	252P (150分)		2012/01/17 21:28:16
ながーる ☆☆☆☆☆	特に激しいアップダウンはないストーリーで、勤務医の日常、現実が主軸 でも、文体がなんだか夏目漱石をイメージしてるみたいだし、住んでるアパートが昔ながらの共同住宅みたいな変なところなので、ちょっと浮世離れてましたー 医者が日々直面している無情の世界を想像して、はかないなあとおもったり			
	1-522	522P (120分)		2012/01/08 13:28:58
アカシア ☆☆☆☆☆	医者である主人公の一止がその周りの妻や仲間、患者との関わりを通じて大切なことに気付いていく、そんな物語です。彼の名前の由来ともいえる「正しい」生き方を何となく教えてくれているような気がします。			

	1巻1-252 ページ	252P (150分)	200ページ	2011/12/25 22:52:51
ボールボーイ ☆☆☆☆☆	自分で1巻読んだことがあったので、続きにも手を出してみました。 1巻同様に人生のいろいろを感じる、ほっこりな作品！！ 宮崎あおいの映画版も観に行きたいなあ			
	1-522	522P (350分)		2011/12/21 10:51:38
こはる ☆☆☆☆☆	こんなに心が温まってきれいな涙を流したのはいつぶりだろう、っていうくらい素敵なお話でした。文語体？の主人公のセリフとせかせかしているのにほっとできる時間の流れが生み出す絶妙な雰囲気に惹かれます。こんな夫婦になりたい。			
	1の1-152	152P (400分)	最初を読んだら吸い込まれていくはず！	2011/12/09 14:13:19
こるく ☆☆☆☆☆	ユーモアあり、感動ありで本当に温かい気持ちになれる物語だった。 医者ならば避けられなさそうな悩み、葛藤が細かく描き出されている。 文章も非常に読みやすかった。			
	1巻 1-252ページ	252P (130分)		2011/12/06 20:47:50
しろ ☆☆☆☆☆	本当に心温まる一冊でした。登場人物が個性的でおもしろく、登場人物それぞれが人生に迷って立ち止りながらも自分の人生を歩んでいく姿は印象的だった 本当に読んでよかった。 続きもぜひとも読んでみたい。			
	1-252	252P (120分)	1-252	2011/12/06 11:20:59
ちゃむ ☆☆☆☆☆	映画化されたもので、原作にもあまり良いイメージを持ってなかったが、それを吹き飛ばしてくれるような爽やかでさっぱりとした気持ちの良い本だった。 読み終わってから、著者が実際に医者であることに気づいた。それでこんなにリアルな現場を描けるのかと思ったと同時に、つらいと知っているものをファンタジーのように幸せなオーラに包み込む文章のうまさに感嘆した。 (追記、2巻を読んで1/17) 悲しくて涙が出るのではなく、心の琴線に触れるような物語。胸にしみる。			
	1,2巻	569P (375分)	1:70,100,161;2:195-196	2011/11/29 12:04:21
あおい ☆☆☆☆☆	ほっこりした(´▽`)/ 医療ものでありがちな話だけど、やっぱりいい(^ ^) 映画も見ただけど、あおいちゃんかわいかったなーwww			
	上下巻	522P (300分)		2011/11/28 17:10:39
Nob ☆☆☆☆☆	暖かい話でした。 宮崎あおいと櫻井翔が演じると聞いて恋愛ものかと思いきや、心温まる医療の話でした。 ところどころ、うるっときた場面も、、 続きも読みたい！！			
	上1-247	247P (150分)		2011/11/26 22:17:17
	評判通り心が温まる話でした…！			

おにぎりんぬ ☆☆☆☆☆	変人と思われがちwだけど、仕事に対して一生懸命でやりがいを感じている先生(主人公)ってすごい人だと思った!主人公だけじゃなく登場人物が全員魅力的なのも人気の理由かも。設定や文章自体もむずかしくないので読みやすかったです。			
	1、2巻	522P (300分)	全部	2011/11/06 15:33:31

ほまひ ☆☆☆☆☆	群像劇のような形態をとっています。 作品中には悪い人が誰も登場せず、物語として分かりやすい勧善懲悪というものはなく、俺がやりたいからやっているんだ、という美しさがありました。			
	上下巻	522P (400分)		2011/11/04 17:04:29

nodo ☆☆☆☆☆	小説はみんなそうかもしれないけど でてる人たちがみんな、強い。人として。 自分が情けなくなっていました。反省。反省。 とてもいい本でした。			
	1,2	522P (300分)		2011/11/03 22:00:59

アニマル ☆☆☆☆☆	やっぱり医療ものはいいい作品多いな。読みやすいしオススメ			
	1-247	247P (120分)	なし	2011/11/01 23:07:57

専務 ☆☆☆☆☆	いやぁ、心あったまりましたわ！ ほんとこんな医者いたらなあって思う。 ただ、割とありきたりな内容だった気がしなくもないが それでもいろいろと考えさせられる物語だった。 印象深い言葉 迷うた時にこそ立ち止り、足元に槌を振るえばよい。さすれば、自然そこから大切なものどもが顔を出す。 いい言葉だなあ。			
	上	247P (120分)		2011/10/31 21:05:34

てい ☆☆☆☆☆	人の温かさに涙しました。 こんなに素直に涙が出てくる本は久しぶりに読みました。 ってもちゃんと本を読んだのが久しぶりでしたが。			
	1～247	247P (180分)	全部。途中だけ読んでもよくわからないと思います。。。	2011/10/24 14:57:36

あああああ ☆☆☆☆☆	1でおもしろいと思ったなら2も読むべきです。 少々難解な言葉も出てきますが一気に読破でき心が温まります。			
	1・2	522P (400分)		2011/10/16 02:11:48

Elmo ☆☆☆☆☆	2巻を読んだあと、また読み返したくなり自宅にあったのですが1巻も読み返しました。 1.2巻合わせてとてもハートフルな作品だと思います。 特に主人公夫婦の会話は読んでいてほっこりした気分になります。 すぐに読めちゃうので読んでみてください。			

	上1-247	247P (90分)	ALL	2011/10/10 21:42:46
Elmo ☆☆☆☆☆	1巻を読んだ人は絶対読みたくなるはず!! 面白い語り口調とは裏腹の医療をテーマにした少し重い作品。 メッチャ感動します。 1巻読んだ人は是非読んで下さい。			
	下1-317	317P (90分)	ALL	2011/10/10 21:34:27
柊 ☆☆☆☆☆	じんわりと涙があふれてくるいいお話でした。 昨今ドラマでとりだたされるような救急救命ではなく 人と真摯に向き合う医療のあり方が丁寧に描かれていて 哀しく、けれども温かい素敵な本でした。 2巻も読みたい！！			
	1巻	247P (120分)	なし	2011/10/06 18:36:30
てでい ☆☆☆☆☆	映画になってるから気になって読んでみたら、とっても良かったです！ 書き方?口調?は古風な感じだけど、それがまた心地よいテンポ を醸し出す。			
	上	236P (50分)	全部！！	2011/10/05 19:32:06

[TOP](#)へ



図書一覧

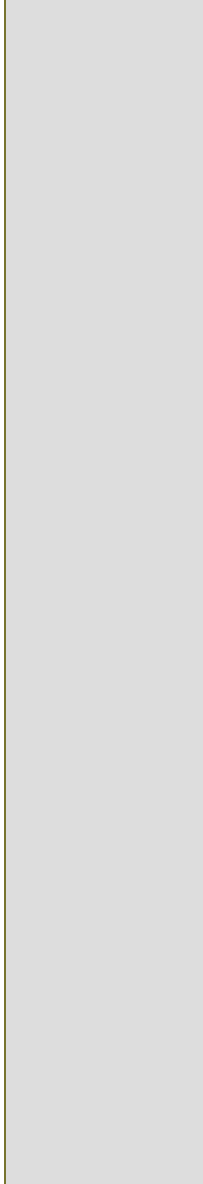
書籍紹介

読者投稿欄

プロフィール
覧

自己プロフィー
ル

掲示板



麒麟の翼

著者名	東野圭吾	発行年	2011年
出版社名	講談社	ページ数	325ページ
値段	1,600円	ISBN	978-4062168069
コメント	はじめ：いきなり日本橋！ 派手な舞台装置でわくわく。 なかば：地道着実。推理の積み上げ、加賀さんかっていい。 ラスト：いくつもの家族ドラマの重奏にしみじみ。 王道ですね。さすが定評ある作家さん。ミステリー好きのみなさまに。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
Elmo ☆☆☆☆	東野さんは終わり方が上手だと思う。 読み終わったあとに感動をおぼえた			
	1 - 325	325P (180分)	all	2012/02/14 13:36:44
こはる ☆☆☆☆☆	映画を見てから読もうか読んでから映画を見るか悩んだけど先に読んでしまいました！映画みるしかない！阿部寛！！			
	1-325	325P (200分)		2012/02/13 08:50:07
あああああ ☆☆☆	映画化ということで読みたかったのですが 試験勉強のため断念…。			
	1-50	50P (40分)		2012/02/03 00:35:57
柊 ☆☆☆☆☆	一気に読み終わってしまいました!! ドラマは見ていたし、今度の映画も見に行きたいと思っていたので読みましたが、小説もかなり面白い!! ハードカバーで戸惑いましたが、さくさく読み進めてしまいました。			
	全部	325P (180分)		2012/01/25 14:58:44
	驚きの連続!!! ミステリーを読むとき、自分なりに次の展開を予想するけど この作品では見事にしてやられたって感じです。			

専務 ☆☆☆☆☆	そして何より ミステリーなのになぜか感動してしまう。 他の推理ものとは一味も二味も違いました。			
	all	325P (200分)		2011/11/28 23:17:47

ボールボーイ ☆☆☆☆☆	最後の最後にすべてが繋がるという、東野さんの作品がよく、この作品をすごいよかったです！ でも個人的には、いつものより意外性が足りなかったなあ…			
	1-325	325P (200分)		2011/11/18 17:56:34

ちゃむ ☆☆☆☆☆	ミステリーはあまり好きでない。主人公の推理の軌跡を追っていくしかなく、自分で考えをめぐらすことができないからだ。 しかし、「麒麟の翼」では違った。謎はあくまで背景で、主役は人間たちである。 そして帯の言葉。この言葉をピックアップしたことに感嘆した。ありふれた言葉に見えて、読み終わる頃には何重にも意味が重なり、厚みを持ってそこに存在する。			
	1-325	325P (210分)		2011/11/03 13:37:39

あおい ☆☆☆☆☆	東野さんやっぱさすがっす(^^) 見事に引き込まれました 毎回東野さんの作品を読んだあとは、世界観に関心してしまいます。 一度読んだらとまらない ほんとにおすすめです			
	1-325	325P (200分)	全部	2011/11/01 12:52:01

nodo ☆☆☆☆☆	初めての東野圭吾。 加賀刑事のキャラが立っていて、とてもおもしろかった。 シャーロック・ホームズに謙虚さを加えたら、きっとこんな人間になるのだろう、という印象です。 加賀の相棒の松宮は、完全にワトスンそのものでした。THE 傍観者。笑 加賀はシリーズものらしいので他の作品も読んでみたい。			
	1-325	325P (180分)		2011/10/20 20:28:18

Nob ☆☆☆☆☆	面白いドラマなどの原作を良くやっているので、一度読んでみようとは思ってましたが、今回初めて、東野圭吾さんの作品を読みました。 面白かったです。ハードカバーで読みづらいかと思いましたが、実際読んでみると、そんな事はなく、最後まで楽しく読めました！ 予想外の展開に驚きです！ あまり、色々書くと、ネタバレになるので、このくらいにします！ 面白いので、オススメです！			

	1 - 325	325P (180分)		2011/10/12 11:37:54
--	---------	-------------	--	---------------------

てでい ☆☆☆☆☆	さすが東野さん。 いつもは文庫まで待ってたけど久しぶりにハードカバーで読んでみました。 ハードカバー買ったことを後悔しない1冊でした！ 東野さんの名作がまた一つ増えました。 ちゃんと最後まで読むとタイトルの意味がわかるよんw			
	1-325	325P (90分)		2011/10/05 19:33:26

[TOP](#) ^



- 図書一覧
- 書籍紹介
- 読者投稿欄
- プロフィール一覧
- 自己プロフィール
- 掲示板

下町ロケット

著者名	池井戸 潤	発行年	2010年
出版社名	小学館	ページ数	407ページ
値段	1,785円	ISBN	978-4093862929
コメント	ラストは爽快に大空へ。 大田区が舞台のものづくり物語。企業の競争や特許のこともちょっと分かるし、見知った地名がちらほらあるのも親しみやすいし、人生観も深くて、さわやかに読み終われる今年の直木賞受賞作。		

読者投稿欄

ペンネーム お勧め度	コメント			
	読んだ場所	読んだページ数（時間）	立ち読みポイント	投稿時間
R2D2 ☆☆☆☆☆	研究職をしていた頃の苦い経験を糧に町工場の虎の子の先端技術として、大手企業と渡り合いながら・社内の融和を図りながら、自分たちの技術でロケットを打ち上げるロマンを追いかめることができた、主人公の佃に自分を重ね合わせるようにして読んだ。 利害について様々な立場の人が駆け引きをするのが、地味に映るが本書で最も描写されていることだと思う。			
	1-407ページ	407P (150分)		2012/02/14 23:54:28
なっちゃん ☆☆☆☆☆	佃中学に通っていた自分としては佃の字だけで興味ができました 主人公が数々の困難に直面しながらも最後は夢をかなえる 話の展開としては王道的なものだけどそれでもおもしろい			
	1-407	407P (270分)		2012/02/14 23:53:49
こはる ☆☆☆☆☆	空飛ぶタイヤがおもしろかったから読んでみた。池井戸さんの「中小企業」への想いが伝わってくる。			
	1-407	407P (500分)		2012/02/13 09:05:08
こるく ☆☆☆☆☆	次から次へとやってくる困難にめげず、自分の信念を貫き通す主人公の強さに心打たれた。 とにかく夢に向かって突き進んでいけば、「リフト・オフ」できると感じられる、爽やかな物語だった。			
	1-407	407P (270分)		2012/02/12 00:08:07
	セリフが多めなのでとても読みやすかったです。			

おにぎりんぬ ☆☆☆☆	直木賞受賞作品ということで有名ですが、とても面白かったです。 おすすめです！			
	全部	407P (300分)	407	2012/02/05 20:59:50
アニマル ☆☆☆☆	苦難を乗り越え夢のために進んでいく。いい作品ですね。中小企業のど根性いいですね。さすが直木賞受賞作品！			
	all	407P (300分)		2012/02/01 22:16:15
専務 ☆☆☆☆	面白くてとても読みやすいです。 金や地位だけのために働くのではなく プライド、夢のために生きる主人公の生き方には胸が熱くなった。 自分もこんな風に生きたいなと思う			
	all	407P (240分)		2012/01/31 23:00:47
ちゃむ ☆☆☆☆☆	悪役が憎たらしくて良い。 けど、ちょっと小説から離れると、どこか自分にも重なるところが感じられて、複雑な気持ち。 夢やプライドっていいなと思った。 家の近くの地名が出てきて、どこかなと想像するのもまた楽しい。 弁理士、名前は知ってたけどなかなかかっこいいなと思った。			
	1-407	407P (265分)		2012/01/13 15:33:27
p i g(・∞・) ☆☆☆☆☆	面白かったです。 気が付くと主人公と一緒に一喜一憂しながら読んでいました。 いろいろ魅力的な選択肢があっても、一本の信念を貫いていけば いつか報われるという力強いメッセージに元気づけられました。			
	1-407	407P (330分)		2011/12/29 23:26:55
Elmo ☆☆☆	物語としてはいい！！ これぞ中小企業の意地って感じでっ！！ たぶん、下町の町工場とかの人には希望を与えてくれる作品だと思う。 「日本の技術力はスゴいんだぞっ！」って。 ただ、直面する問題が悉く解決されちゃうのが、ちょっと小説としていまいち・・・ まあすっきりと終われますがね。			
	1-407ページ	407P (180分)	all	2011/12/20 15:27:48
aya ☆☆☆☆	技術者の憧れ！信念を貫いたら、夢はいつかなうよって話です。 ちょっと一方的な視点な感じがありますが、理系なら一度読んだらいいと思う。			
	家	407P (300分)		2011/11/01 17:08:33
Nob ☆☆☆☆☆	タイトルから僕が想像している感じとは全く違う話でした！ 先が読めない、そして、途中まででは全く予想もつかない展開が面白かったです！ 初めの苦難から、一転最後の快進撃に、感動してしまいました！ とにかく、面白かったので、オススメです！			
	1-407	407P (240分)		2011/10/18 14:47:30

ほまひ
☆☆☆☆

凄く王道。危機が来る→乗り越える。まさに友情努力勝利の積み重ねといった感じでした。
皆大好きな、ちっぽけだけど凄い実力を秘めてる、みたいな会社が舞台です。そういう意味で目新しさは特に無いけど話が安定していて普通に良かった。ロケットが打ち上がるラストは好きです。

1-407	407P (120分)	最終章	2011/10/11 14:43:38
-------	-------------	-----	---------------------

[TOP](#) ^